

# 福島県予算 1兆5764億円

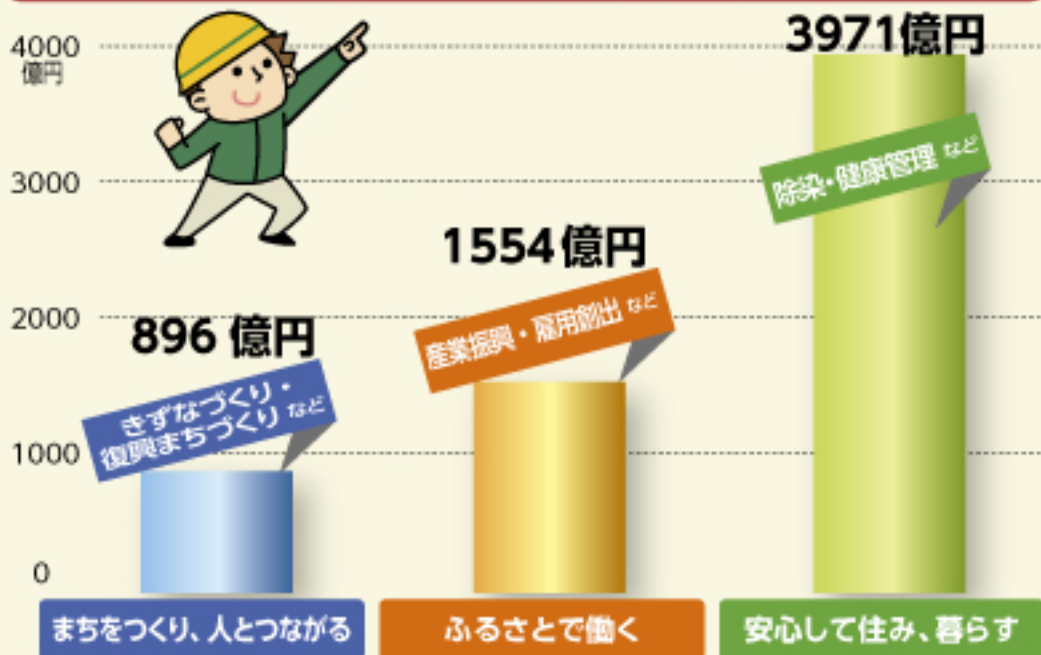
復興を最優先、  
過去最高

## 復興元年



平成 24 年度予算は「復興元年」として大震災からの復興と原子力災害からの再生を図る大切な予算です。総額は 1 兆 5764 億円で過去最高、そのほぼ半分にあたる 7255 億円が震災・原子力災害対応に充てられます。昨年 12 月に策定した「福島県復興計画」の実現に向け、復興・再生に係る取り組みを最優先に予算を配分しています。

### 県復興計画重点プロジェクト 6421 億円



## 県復興計画重点プロジェクトに優先配分

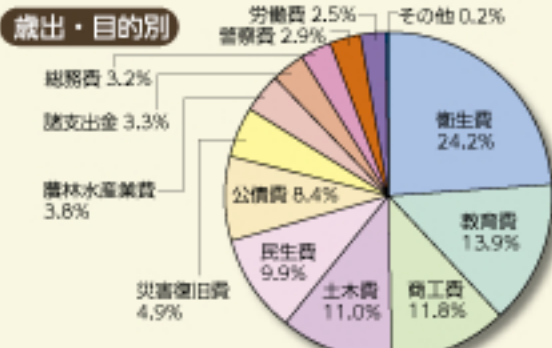
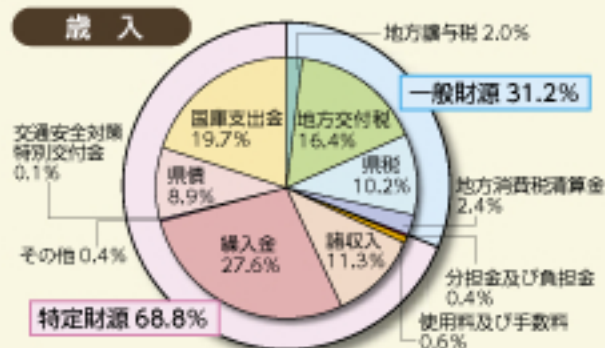
今年度の予算は除染と健康管理、産業振興、雇用創出、きずなづくり、復興まちづくりなどを中心とした県復興計画の重点プロジェクトを、3つの柱に位置づけ予算を優先的に配分しました。総額は6421億円です。

復興計画を推進するため、重点プロジェクトの3つの柱に計6421億円の子数を配分しました。

その内訳は、「安心して住み、暮らす」に3971億円、「ふるさとで働く」と安心して生活できる環境の確保を図るための徹底した除染作業や、子どもたちをはじめ、全ての県民の健康を守るための県民健康管理調査を継続して実施します。

次に「ふるさとで働く」は、1554億円。農林水産業の再生や、中小企業の復興支援、再生可能エネルギーの推進、医療機器産業の集積などにより産業を振興し、雇用の確保を図ります。

そして「まちをつくり、人とつながる」は896億円。県内外に避難している人たちがふくしまとつながるきずなづくりの推進や観光の復興を自指す取り組みを進めます。また、防災緑地の整備や海岸線の災害復旧、復興の基盤となり、生活を支える道路整備などのインフラの強化を図ります。



## 復興へ12の重点プロジェクト プロジェクト別の事業費

	プロジェクト	内容	事業費
<b>安心して暮らす</b> 3971億円 (除染・健康管理など)	環境回復	除染の推進、農産物などのモニタリング強化、下水汚泥の適切な一時保管など	2812億円
	生活再建支援	生活相談員の配置、住環境再建の支援(二重ローン対策)、復興公営住宅整備促進、雇用確保など	722億円
	★次ページで解説 県民の心身の健康を守る	甲状腺検査や内部被ばく検査の継続、学校給食のモニタリング、地域医療体制整備、被災者や子どもの心のケアなど	221億円
	未来を担う子ども・若者育成	ふくしまっ子体験活動応援事業の継続、学力向上の推進、将来の産業の担い手育成、子どもの医療費無料化に向けた取り組みなど	216億円
<b>ふるさとで働く</b> 1554億円 (産業振興・雇用創出など)	農林水産業再生	農産物の詳細な放射性物質測定、生産履歴情報の提供、農地・林地・漁港施設等の災害復旧	326億円
	中小企業等復興	被災中小企業等の事業継続・再開支援、中小企業の資金繰りの支援、企業立地への補助など	1144億円
	再生可能エネルギー推進	防災拠点への再生可能エネルギー導入、太陽光エネルギー発電/パネル設置経費補助、木質バイオマス供給施設の整備など	40億円
	医療関連産業集積	先端医療機器の開発等研究の支援、県立医科大学における創薬分野の研究拠点整備など	44億円
<b>まちをつくり、人とつながる</b> 896億円 (きずなづくり・復興まちづくりなど)	ふくしま・きずなづくり	民間団体等による復興に向けた地域づくり活動への補助、避難者等への電子回覧板による情報の配信など	11億円
	ふくしまの観光交流	正確な情報発信や観光復興キャンペーンによる風評被害払拭、国際会議・スポーツ大会の誘致など	7億円
	津波被災地復興まちづくり	防災緑地の整備、河口部における堤防改修、減災機能を備えた道路整備など	580億円
	県土連携・交流ネットワーク基盤強化	交通の「浜通り軸」の復旧・整備、東北中央道相馬～福島間の推進、小名浜港や相馬港の整備など	298億円



復興  
元年

# 「県民の心身の健康を守るプロジェクト」

もっと解説します。

福島県は、全国にも誇れるような健康長寿県となるため、県民の心身の健康の保持増進を図ってまいります。当プロジェクトを推進し、全国にも誇れる健康長寿県を目指します。

私たちは、全国に誇れる健康長寿県を目指します。

## 県民の健康意識の向上

### 県民の健康の保持・増進

- ・県民健康管理調査：全県民を対象に調査を行い、県民の健康の保持・増進を図ります。
- ・新生児聴覚検査の支援：先天性聴覚障がい早期発見のため、検査費用を助成します。
- ・母子の健康相談体制の充実・強化：電話相談窓口を設置するとともに、母乳の放射線濃度検査を希望する場合に費用を助成します。
- ・学校給食のモニタリング検査：保護者の不安を減らし、いっそう安心いただくために検査を実施し、保護者を対象に説明会を行います。

### 地域医療の再構築

- ・県立医科大学の入学定員増：定員を大幅に拡大し、医師の確保と県内定着を図ります。
- ・医療施設等の機能回復：震災によって被災した医療施設の機能回復を図ります。
- ・医療人材確保：医療体制の回復を目指し、医療機関が行う医療人材の確保等を支援します。
- ・浜通りの医療の復興：浜通り地方医療復興計画に基づき、医療機関の機能強化と連携の推進を支援します



## 県民の心身の健康を守るプロジェクト

### 被災者等の心のケア

- ・被災者の心のケア：精神保健センター等に心のケアセンターを設置し、専門職を配置して心のケアを支援します。
- ・子どもの心のケア：県内外の被災児童及び支援者などに対する専門家の派遣や研修会の開催などにより心のケアを支援します。



### 最先端医療体制の整備

- ・県民健康管理拠点基本構想の策定：将来にわたり県民の健康を守るため、福島県立医科大学における放射線医学に関する最先端診断・治療拠点の創設に係る基本構想を策定します。



ふくしまから  
はじめよう。



福島県知事  
佐藤 雄平

東日本大震災から1年が経ちました。

多くの方々からの御支援と県民の皆さんの努力のおかげで、県内にもようやくやく復興の芽が出てまいりました。

この芽を大きく育てたい。そして、子どもたちの笑顔あふれる「ふくしま」を取り戻したい。そう願っています。

私たちの眼前にあるのは、決して平坦な道ではありません。しかし、福島県の復興、挑戦を全世界が目撃し、応援してくれています。

今こそ、私たち福島県民が心一つにし、力を合わせるときです。

「ふくしまからはじめよう。」  
この言葉を胸に、復興への歩みをともに進めてまいります。